

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなで歌おう!

秋の青空に

萩の花がよく似合います!



結婚生活パート1

私のプロポーズに洋子さんはかすかに涙ぐんでうなずいてくれました。OKと言うことですね。私は飛び上がるほど嬉しくて、この人が私の一生の伴侶かと思うと運命めいたものを感じ「ありがとう!」と叫んでいたと同時に、不思議な、新しい世界が開けていくのを感じていました。

さあ!結婚となると色々準備しなければならぬことばかりで、まず住むところは?仕事は?生活費は?結婚式は?これ全て用意ができていませんでしたので、これから考えることになりました。若さゆえとはいえあまりにも私は無責任な男でした。まず私はママに相談することになりました。貯金

0円の私はママがよく理解していましたので「あなた、少しは考えてからプロポーズすべきではないの、彼女がかわいそう」と叱られました。ママは「スタートらしいことは私に任せなさい」と言いつて、「まず結婚披露宴だけをして、式は二人で貯金をして出るときにしないさい。披露宴は私の料亭で然るべき人を招待して開けばいいから」と言いつて頂き、すべてママに任せることにしました。

住む所は今のアパートを友達に出でいってもらって住むことにしました。友達二人からひどいやつだと言われましたが、勘弁してもらって6畳一間の部屋が新婚のスタートの家になりました。

台所は付いていますが、風呂は銭湯、トイレは共同

です。狭いながらも楽しい我が家です。洋子さんと二人なら楽しい日々が送れると、有頂天の私でした。

朝、私は十一時まで寝ていましたが、洋子さんは出勤が十一時だったので、十時に家を出て新宿まで通勤するという、朝は別々の新婚生活が始まりました。

結婚披露宴は、日曜日にママがホステスさん5人、お客様3人、私の友達2人、洋子さんの勤務先の社長さん1人、お姉さん夫婦の2人と、合計私達を含め十六名で披露宴を催していただきました。ささやかですが温かい披露宴になりました。私は感激しました。後は結婚式をいつ出来るかでしたが、あては今の所ありません。貯金をしてつもりでした。ママのお客様で富士ファイルムの常務さん、丸紅の専務さん、間組の常務(ママのパトロン)が集まって頂き、すべての

費用はママ持ちで私達は0円の披露宴でした。有り難いことです。

こうして無事披露も終わりました。新しい新婚生活、楽しいことが一杯と胸膨らませ小岩のアパートに帰りました。まさかこの後に苦しいことが待っていた。うとは二人共いえ誰もが思ってもいませんでした。

新婚生活2ヶ月ほど過ぎた頃、洋子(この頃からこう呼んでいました)が咳き込むようになり、初めは風邪かと医者に見せましたが、風邪ではなく、喘息だといわれびっくりしました。東京の汚い空気に洋子の肺は侵されていたのです。咳がだんだんひどくなり、特に夜布団に入り温まってくるとそれが余計ひどくなり、ついに「ヒューヒュー」と喉が鳴り出し息をするのも苦しそうです。これはいかんと救急車を呼んで医者駆け込み

ました。病院では注射をするとうと楽になり「ヒューヒュー」言わなくなりま

す。

こんなことが度々起きてついに洋子は勤めを辞めることになり、家で静養することになりました。今の私の給料では家賃を払い、食べていくのに一杯。今まで洋子の給料を貯金にとしてきたのですが、それも毎月医者代に消えていきました。

悪いことは重なるもので、お店にお客さんが少なくなり、やっつけいけなくなり、閉店することになったのです。洋子の病気と私の失業、いっぺんに襲ってきた、私は友達の山崎くんに相談しました。

ちやうど彼も転職を考えていたところで、私の話を聞いて「籠さん、小田原に行かないか?」と誘って来ました。「小田原?いきなりなんで小田原?」「小田原のキャバレーでマネ



「ジャーをしてくれないかとの話があるんだよ、良かったら洋子さんの静養のためにも小田原に行ってみないか？」
いきなりの小田原に私はびっくりするのと同時に、洋子のためにも空気の良い田舎の方がいいのかなあと、考え始めていました。・・・次回、小田原に行くのか。
籠谷 弘 24歳の秋です。



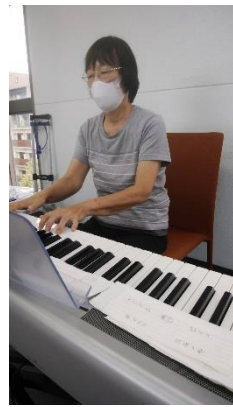
奥村文代

歌声喫茶が終わるころは、ぶ厚い雲も消えて雨の心配もなく、気持ちがいい2時間でした。
ありがとうございます。

「東京ラブソディ」は東京に憧れていた私にとって、正に夢のパラダイスでした。歌うことに集中していると、現実の世界から離れて過ぎ去った遠い日が目の前に現れ、楽しいひとときを過ごすことができます。

9月10日の歌声喫茶はあいにくの曇り空で、時々小雨が降りましたが前回よりも人数が多く、部屋に明るい大きな声が響きました。今回、指導して頂いたテーマ曲は昭和歌謡でした。
歌詞の由来やその頃の社会情勢を詳しく説明してもらおうと、歌っているうちに若かった頃が鮮やかによみがえりました。

歌声喫茶に参加して！



歌声喫茶 11月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

11月12日、26日

「洛西」(第1、3木曜日)

11月 5日、19日

楽々亭 第4回 10月の予定

10月31日(土)

西京区役所洛西支所会議室

1時30分～3時30分



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。